教育目標

研究目標

生徒一人一人が粘り強く学びに向かう力を育て、学ぶ喜びを感じ合える授業づくり

～「主体的」「対話的」で「深い」学びのある授業をめざして～

教育理念

知・・・自ら考え知性のある人に
徳・・・思いやりと節度ある人に
体・・・心豊かなたくましい人に

＋

学校教育目標

・生徒一人ひとりが学ぶ喜び、自己有用感が感じられるような学校づくり
・生徒一人ひとりがお互いに支え、認め合える、思いやりのあるあたたかい学校づくり
・生徒一人ひとりが安全・安心に生活ができる学校づくり
・生徒・保護者・地域・教職員がつながりあっている学校づくり

→

めざす子ども像
（付けたい力）

- **自ら考えてチャレンジする力**
- **自分、仲間を大切にする力**
- **自立して生き抜く力**

重　点　目　標

学校経営の重点	学習指導の重点	生徒指導の重点	健康管理指導の重点
①教職員一人ひとりが個性を発揮しながら、積極的に経営に参加する。 ②「生きる力」をもつ生徒を育成するために、特色ある学校づくりに推進する。 ③家庭・地域との連携を深め、「開かれた学校づくり」を推進する。	①各教科を通じて、主体的・自発的に学習する意欲を持たせるよう指導する。 ②生徒一人ひとりの能力や個性を把握し、それを伸ばすきめ細かい指導を目指す。 ③自らの課題を見つけ、よりよく問題を解決するこれからの時代に求められる資質や能力を育てる。	①基本的な生活習慣を身につけ、自ら考え、自ら行動し、自ら責任をもつ生徒を育てる。 ②不登校生徒への指導に全教職員による協力体制をつくり、関係機関と連携しつつ適切な指導を行う。 ③学校いじめ防止基本方針を踏まえて、小中学校間での連携を図り、いじめの早期発見、早期解決に努めるとともにその予防措置を講じ、いじめを絶対に許さない学校づくりを行う。	①感染症に負けない体を作るため、規則正しい生活習慣を身につけ、自ら健康について考え、正しく判断できる力を養う。 ②健康診断・健康相談により、疾病異常の早期発見と適切な事後措置を図り、健康の増進に努める。 ③命の大切さの理解と安全教育を徹底し、事故防止を図る。

人権教育基本方針

人権学習、特別支援教育、在日外交人教育、男女平等教育、集団作り、平和教育、学力保障、進路保障の８つの問題を柱として、人間尊重を生かした教育を目指す。